2025年度
第2四半期決算説明会
（2025年4月～2025年9月）

開催日：2025年11月28日
（東京都文京区小石川一丁目4番1号）

ジオスター株式会社

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

目次

1. 2025年度上期決算概要（P3～P13）

2. 2025年度業績予想（P14～P16）

3. 参考資料（P17～P27）

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

1. 2025年度上期決算

・2025年度上期の事業環境 ・・・・・・・・・・・・P4
・2025年度上期決算の概況 ・・・・・・・・・・・・P5
・上期連結決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
・受注高・受注残の推移・・・・・・・・・・・・・・・・P7
・連結貸借対照表概要・・・・・・・・・・・・・・・・・P8
・連結主要経営指標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9
・上期キャッシュフローの概要 ・・・・・・・・・・P10
・設備投資・減価償却の推移・・・・・・・・・・・・P11
・2025年度・剰余金の配当 ・・・・・・・・・・・・P12
・配当金の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P13

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2025年度上期の事業環境

●土木業界については、公共投資は堅調に推移している。

但し、以下の点は引き続き注視が必要。

●大型セグメント案件の掘進時期は依然として見通せない。

●諸資材価格の高止まり、人件費・物流費の上昇等のコストアップ。

●工事予算不足に伴う工事の遅延。

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2025年度上期決算の概況

2025年度上期は増収増益

2025年度上期は、主力のセグメント製品が厳しい競争環境の中、RC土木製品の受注拡大、高規格の合成セグメントの受注・生産量の積み増し、コスト上昇に対する販売価格転嫁の推進を図るなどの収益改善に取り組み、増収増益となる。

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

上期連結決算概要

売上高125億80百万円（前年同期比7.2%増）と8億42百万円増加した。
利益については、営業利益6億32百万円（前年同期比4.4%増）、経常利益6億55百万円（前年同期比6.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は4億34百万円（前年同期比9.3%増）と増益となった。

（単位：百万円）

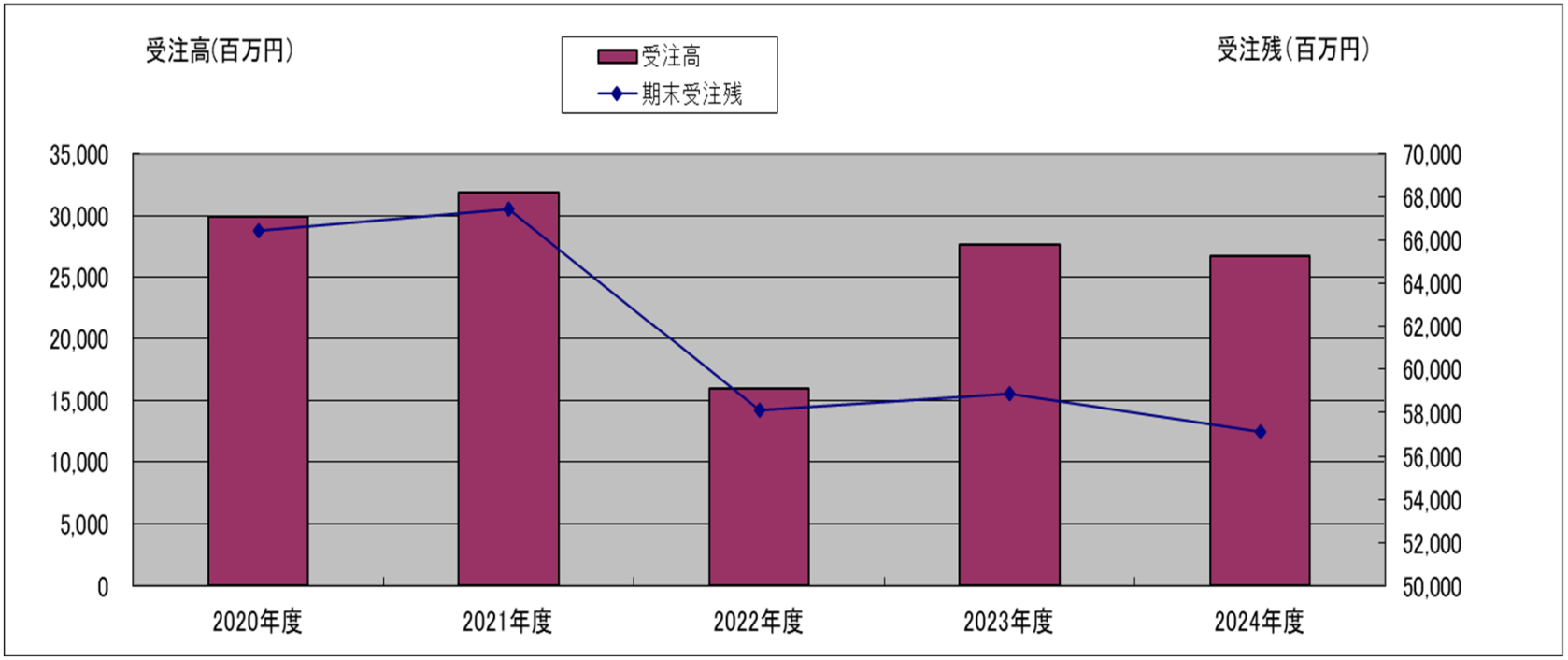
	前中間会計期間実績 A	当中間会計期間実績 B	前期比 C=B−A	増減率 C/A	2025年度中間会計期間業績予想公表値 2025年5月15日
売上高	11,737	12,580	842	7.2%	13,900
営業利益	605	632	26	4.4%	490
経常利益	618	655	37	6.1%	500
特別損益	△ 5	△ 13	△ 8	147.5%	―
親会社株主に帰属する中間純利益	397	434	37	9.3%	300

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

受注高・受注残の推移

（単位：百万円）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
受注高	29,958	31,877	15,916	27,687	26,759
期末受注残	66,431	67,448	58,128	58,906	57,137



© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

連結貸借対照表概要

（単位：百万円）

科　　目	前会計年度 A	当中間会計期間 B	増減額 B−A	科　　目	前会計年度 A	当中間会計期間 B	増減額 B−A
現金・現金同等物	4,259	6,432	2,173	支手・買掛金・未払	7,205	4,368	△ 2,836
受手・売掛金	8,787	5,109	△ 3,677	電子記録債務	−	39	39
電子記録債権	969	480	△ 488	長短借入金	290	290	0
たな卸資産	9,513	9,414	△ 99	その他	5,484	5,886	402
未収入金	1,901	1,465	△ 436				
その他	417	620	203	負債合計	12,979	10,584	△ 2,394
流動資産合計	25,847	23,522	△ 2,325	自己資本	23,740	24,088	347
有形固定資産	8,282	8,382	100	利益剰余金	15,187	15,371	184
投資有価証券他	2,589	2,768	178	その他有価証券評価差額金	759	930	170
				その他	7,793	7,786	△ 7
固定資産合計	10,872	11,150	278	純資産合計	23,740	24,088	347
資産合計	36,719	34,673	△ 2,046	負債純資産合計	36,719	34,673	△ 2,046

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

連結主要経営指標

	前中間期	前年度	当中間期
自己資本当期純利益率（ＲＯＥ）	1.7%	3.6%	1.8%
総資産経常利益率（ＲＯＡ）	1.7%	4.3%	1.8%
営業利益率	5.2%	5.4%	5.0%
D/Eレシオ	0.01倍	0.01倍	0.01倍
自己資本比率	67.8%	64.7%	69.5%
有利子負債残高	351百万円	312百万円	308百万円
期末総資産	34,215百万円	36,719百万円	34,673百万円
期末自己資本	23,205百万円	23,740百万円	24,088百万円

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

上期キャッシュフローの概要

売上債権の減少額（4,166百万円）等の収入要因から営業CF30.2億円の収入となる。また、有形固定資産の取得等の投資CF5.9億円の支出により、フリーCFは24.2億円の収入となる。さらに、配当金支払2.5億円により、現金同等物は前連結会計年度末に比べ21.7億円増加し、64.3億円となる。

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 A	当中間連結会計期間 B	増減額 B−A
税金等調整前中間純利益	612	642	29
減価償却費	331	326	△ 4
法人税	△ 218	△ 126	91
その他営業キャッシュフロー	△ 1,447	2,183	3,631
営業キャッシュフロー（a）	△ 722	3,026	3,748
投資キャッシュフロー（b）	△ 661	△ 599	62
フリーキャッシュフロー（a+b）	△ 1,383	2,427	3,810
借入金等　調達・返済	−	−	−
支払配当	△ 344	△ 250	93
その他	△ 3	△ 3	0
現金同等物　増減額	△ 1,731	2,173	3,904
現金同等物　期首残	5,142	4,259	△ 882
現金同等物　期末残	3,410	6,432	3,021

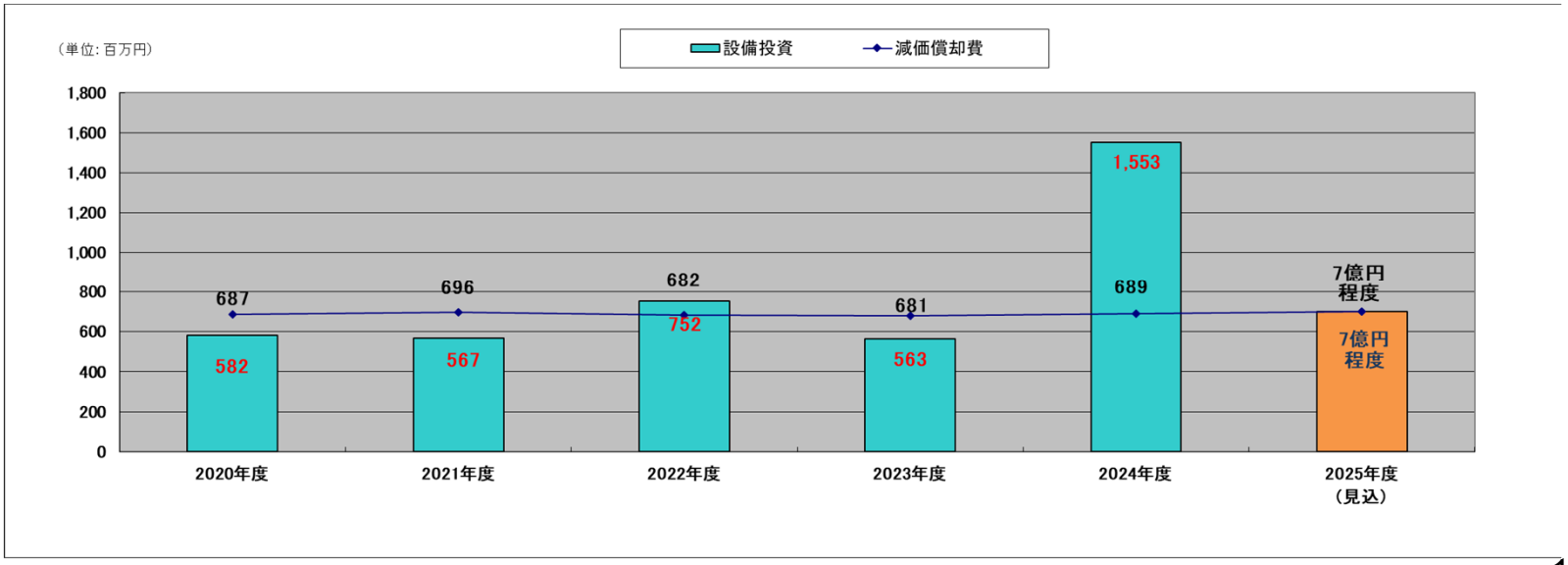
© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

設備投資・減価償却の推移

2024年度は、15億53百万円の設備投資を実施いたしました。その主なものは、東松山工場、金谷工場の屋根補強工事による設備投資が主なものとなります。

（単位：百万円）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度（見込）
設 備 投 資	582	567	752	563	1,553	7億円程度
減 価 償 却 費	687	696	682	681	689	7億円程度



© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2025年度・剰余金の配当

剰余金の配当は、2026年3月期においては、売上高が下期に集中する季節的変動の影響が少ないことから、株主各位に対する利益還元の機会を充実させるため、中間期末に1株当たり4円配当を実施することと致しました。また、期末の配当予想についても1株当たり4円50銭とし、中間配当と合わせて年間配当予想8円50銭と致します。

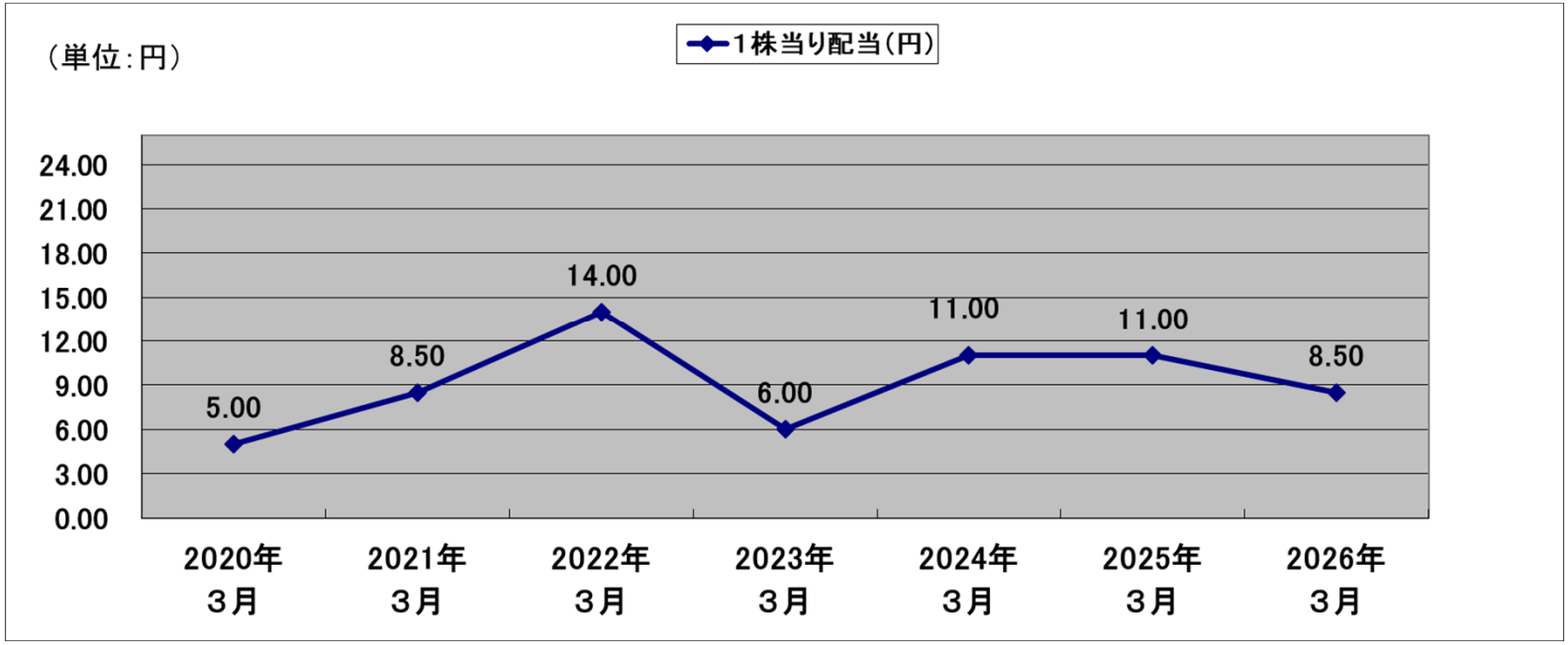
【利益配分に関する基本方針】

当社グループは適正な利潤の確保に努め、健全な発展と永続性を目指し、収益状況に対応した適性な配当維持に努力することを基本方針といたします。また内部留保を充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えております。
収益状況に対応した適正な配当の指標として
⇒連結配当性向年間30%程度を目安とします。

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

配当金の推移

決算年月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月
1株当り配当（円）	5.00	8.50	14.00	6.00	11.00	11.00	8.50
（内中間配当額）	（—）	（—）	（—）	（—）	（—）	（3.00）	（4.00）



© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2. 2025年度業績予想

・2025年度の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P15
・2025年度業績予想 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P16

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2025年度の概要

●事業環境
売上高は減少見込みであり、主力であるセグメント製品は依然として厳しい競争環境であり、価格競争による収益率の低下と原材料価格・人件費・物流費等のコストアップにより、営業利益・経常利益も減益の見込み。

●対策
・主力のセグメント製品の受注・生産を積み増し、トップシェア維持。

・土木製品についても舗装版等差別化製品の受注拡大を図る。

・新規商品の開発・技術提案力の強化により、収益の確実な貢献を図る。

・コスト上昇に対する販売価格の転嫁、徹底的な原価低減等の諸施策の継続実施。

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2025年度業績予想

通期の連結業績見通しは、売上高274億円（前期比11億27百万円減）、営業利益13億円（前期比2億51百万円減）、経常利益13.2億円（前期比2億60百万円減）となる見通し。
親会社株主に帰属する当期純利益は8.5億円（前期比15百万円増）となる見通し。

（単位：百万円）

	2024年度 実績				2025年度 業績予想				差異		
	上期	下期	通期 A	比率	上期 実績	下期 見通し	通期 B	比率	前年上期対比	2025年上・下対比	通期対比
	①	②			③	④			③−①	④−③	B−A
売上高	11,737	16,790	28,527	100.0%	12,580	14,820	27,400	100.0%	842	2,240	△ 1,127
営業利益	605	946	1,551	5.4%	632	668	1,300	4.7%	26	36	△ 251
経常利益	618	962	1,580	5.5%	655	665	1,320	4.8%	37	10	△ 260
親会社株主に帰属する当期純利益	397	438	835	2.9%	434	416	850	3.1%	37	△ 18	15
配当（円）	3.00	8.00	11.00	−	4.00	4.50	8.50	−	1.00	0.50	△ 2.50

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

参考資料

・今後予定される主なプロジェクト

・ジオスターの地下空間

　セグメント製品

　土木製品

・トピックス

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

今後予定される主なプロジェクト

1.善福寺川上流調節池
概要：大雨による洪水に対応する地下トンネル式調節池
区間：杉並区成田西３～西荻北４付近を結ぶ地下トンネル
延長：5.8キロ
完成予定：2035年

2.有楽町線延伸
概要：有楽町線の豊洲駅から住吉駅までの地下鉄延伸工事
延長：４.８ｷﾛ
完成予定：2030年代半ば（開業）

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

3.南北線延伸
概要：南北線の白金高輪駅から品川駅までの地下鉄延伸工事
延長：2.5キロ
完成予定：2030年代半ば（開業）

4.多摩川トンネル
概要：国道357号東京湾岸道路
東京都大田区羽田空港と川崎市川崎区浮島を結ぶ道路用ｼｰﾙﾄﾞﾄﾝﾈﾙ
区間：大田区羽田空港～川崎区浮島
延長：3.4キロ
完成予定：未定

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

5.淀川左岸線延伸部
概要：阪神高速2号豊崎出入口から近畿自動車道と第二京阪道路の門真JCTに接続する高速道路計画
区間：豊崎IC ～門真JCT
延長：8.7キロ
完成予定：未定

6.京奈和自動車道　大和北道路
概要：京奈道路の木津IC付近から西名阪自動車道までの区間延長約12.4キロの道路
区間：奈良県奈良市歌姫町～奈良県大和郡山市横田町
延長：12.4キロ（シールド6.1キロ、高架6.3キロ）
完成予定：未定

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

7.なにわ筋線

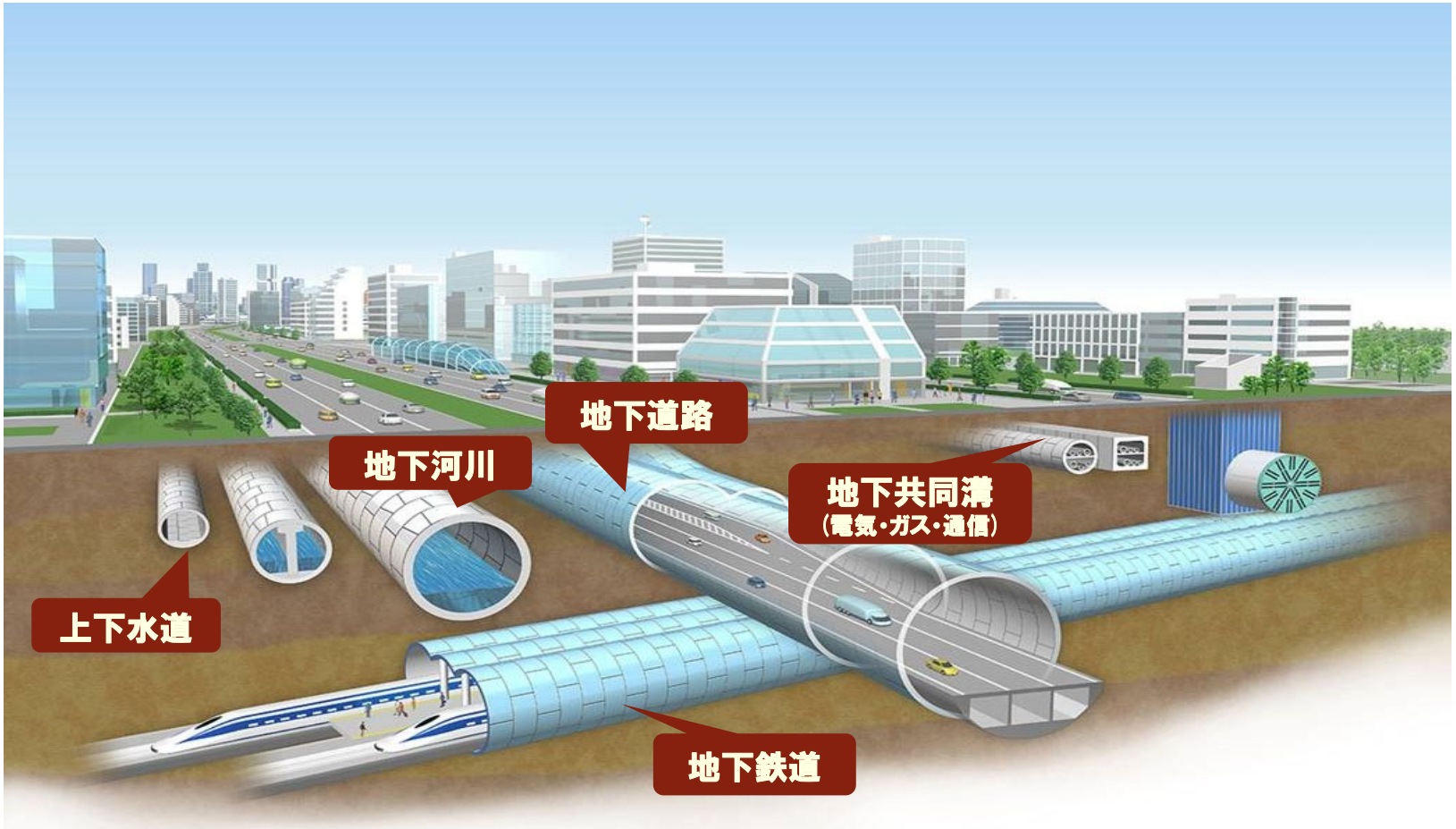
概要：大阪駅（うめきたエリア）とJR難波駅および南海新今宮駅を結ぶ
鉄道路線（西本町駅を境にJRルートと南海ルートに分かれる）

延長：約7.2キロ（地下6.5キロ、堀割・盛土0.3キロ、高架0.4キロ）

完成予定：2031年春開業予定

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

ジオスターの地下空間

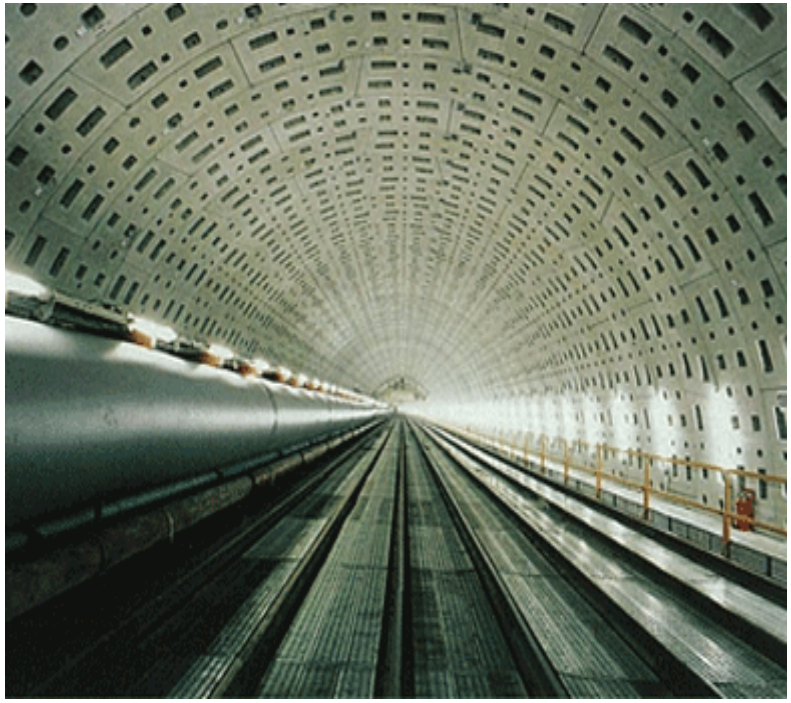


© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

セグメント製品

●RCセグメント
●スチールセグメント

●CPセグメント
●HCCPセグメント
●NMセグメント



© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

土木製品

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

土木製品

●ボックスカルバート
●アーチカルバート
●L型部材
●共同溝
●防潮堤
●モジュラーチ
●ｼﾞｵｳｴｱﾎﾞｯｸｽ
●矢板
●スラブ

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

トピックス

環境配慮型コンクリート　G－SaveWhite®　の開発

カーボンニュートラルの実現に向けて、コンクリートの低炭素化は、建設業界においては重要な課題であります。コンクリート材料に関するCO2の排出量のうち、その殆どがポルトランドセメントの製造時に排出されます。そのため、セメントの使用を製鉄所の産業副産物である高炉スラグ微粉末に大幅に置換してセメントの使用量を大幅に削減する事で、CO2の排出量の削減に貢献するものと期待されております。

当社は、近年注目される環境配慮型コンクリートの開発に取り組み、以下の2つのラインナップ「G-SaveWhite ®E59・E69」を開発しました。

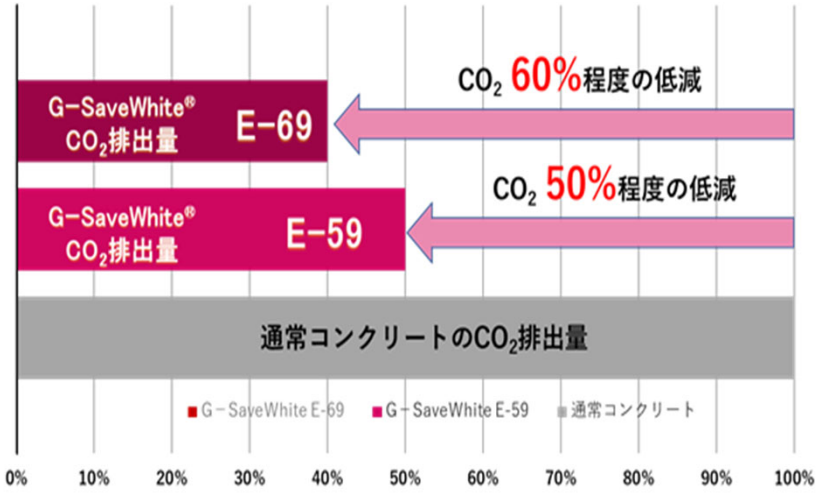
E59・E69は、セメントをCO2の発生が少ない高炉スラグ微粉末に59%置換したコンクリートと69%置換したコンクリートであり、CO2の排出量はE59で50%程度削減、E69で60%程度削減可能な環境配慮型コンクリートであります。

プレキャストコンクリート製品への適用は、RCセグメント製品・シールドトンネル内の内部構築部材・カルバート部材・舗装板部材他、当社保有の製品への実用を目指します。

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

トピックス

環境配慮型コンクリート　G－SaveWhite®　の開発



G-SaveWhiteのCO2排出低減量の概要

G-SaveWhite　RCセグメントの外観

スランプ状況

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任をおいません。

© 2025 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.